

基準価額が5%以上下落したファンドとその背景について (2月4日)

三菱UFJ投信株式会社

◆2月4日の基準価額下落について

弊社投資信託の基準価額は、4日の国内株式市況及び外国為替市場の下落を受け、公募ファンド16本につきまして前日比5%以上の値下がりとなりました。

基準価額下落の背景となりました市況動向等、および今後の見通しと運用方針につきご報告いたします。(前日比5%以上の下落となったファンドにつきましては、別表をご覧ください。)

◆基準価額下落の背景となった市況動向等

4日の国内株式市況及び外国為替市場が大幅に下落した要因としては、一部の新興国経済に対する不透明感が根強い中、1月のISM(米供給管理協会)製造業景況感指数が市場予想以上に低下し、米国景気の先行き不透明感が広がったことが挙げられます。また、国内株式市況はこれまでの上昇幅の大きさから株価変動が大きくなっていったことに加え、為替についても変動幅が拡大しており、投資家がリスクを回避する姿勢を強めたことから、やや大きく円高ドル安に振れたことなども、本日の大幅な下落につながったとみられます。

◆今後の見通しおよび運用方針

一部の新興国経済や通貨に対する懸念が強まっており、日本を含めた世界の株式市況や為替相場は短期的には不安定な動きが続く可能性があります。しかしながら、足下の米国の経済指標の悪化は、昨年後半の実質GDP(国内総生産)成長率が3~4%と高水準で推移したことによる反動であり、一時的なものと考えられます。また、国内においては、消費税率引上げ前の駆け込み需要が発生していることに加え、日銀の金融緩和を背景とした円安の進行により、企業業績の改善が進むとともに、企業全体の景況感も持ち直しています。さらに中期的には、政府の成長戦略や、日銀の追加金融緩和への期待の高まりなどが、株式市況を下支えし、国内株式市況は上昇基調に回帰すると考えられます。

各ファンドの基本的な運用方針に変更はありません。市況動向に十分注意を払い、引き続きコンセプトに沿った運用を継続していく方針です。

以上

■コメントは作成時点のものであり将来予告なく変更されることがあります。
■また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。なお、市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。
■表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

■当資料の「ご留意事項等」の内容を必ずご覧下さい。

<別表>

【基準価額が前営業日比 5%以上下落したファンド】

ファンド名	基準価額	前日比	騰落率
三菱UFJ 優良日本株ファンド(米ドル投資型)2013-12 (愛称:ダブルランナー)	9,120	-650	-6.65%
Jオープン(店頭・小型株)	11,684	-719	-5.80%
日本・小型株・ファンド	12,156	-746	-5.78%
日本株アジア戦略ファンド (愛称:アジアン・パワー)	12,940	-773	-5.64%
ネット証券専用ファンドシリーズ 日本応援株ファンド(日本株) (愛称:スマイル・ジャパン)	16,979	-1,014	-5.64%
優良日本株ファンド (愛称:ちから株)	13,710	-811	-5.59%
三菱UFJ 日本成長株オープン (愛称:ブルーム)	10,474	-606	-5.47%
三菱UFJ 国内株式ファンド (愛称:夢列島100)	8,534	-470	-5.22%
三菱UFJ 日本株式オープン (愛称:選・人・力)	6,755	-372	-5.22%
三菱UFJ 日本株ファンド (愛称:夢日本)	6,956	-383	-5.22%
JASDAQオープン	11,951	-653	-5.18%
三菱UFJ スタイルセレクト・バリューファンド (愛称:変革)	10,183	-555	-5.17%
三菱UFJ グローバルイノベーション (愛称:ニュートン)	10,877	-592	-5.16%
三菱UFJ 技術のチカラ オープン	7,868	-426	-5.14%
三菱UFJ スタイルセレクト・ブレンドファンド (愛称:潮流)	7,867	-422	-5.09%
三菱UFJ 東京関連ファンド(米ドル投資型)2014-01 (愛称:東京Wランナー)	8,500	-449	-5.02%

※小数点第3位四捨五入

【株価相場】

	2月3日	2月4日	変化幅/率	
			騰落幅	騰落率
日経平均株価(日経225)	14,619.13	14,008.47	-610.66	-4.18%
TOPIX(東証株価指数)	1,196.32	1,139.27	-57.05	-4.77%
JASDAQ INDEX	98.56	94.09	-4.47	-4.54%

※小数点第3位四捨五入

【為替相場】

	2月3日	2月4日	変化幅/率	
			騰落幅	騰落率
円/米ドル	102.24	101.23	-1.01	-0.99%

※為替レートは、三菱東京UFJ銀行の対顧客レート仲値等。

※小数点第3位四捨五入

ご留意事項等

【ご購入に際しての留意事項】

◎投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象としているため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては投資信託説明書(交付目論見書)、目論見書補完書面等をよくご覧ください。

◎投資信託に係る費用について

(ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。)

■購入時(ファンドによっては換金時)に直接ご負担いただく費用 …… 購入時(換金時)手数料

上限3.15%(税込)

■購入時・換金時に直接ご負担いただく費用 …… 信託財産留保額(ファンドにより変動するものがあるため、事前に料率、上限額等を表示することができません。)

■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用 …… 運用管理費用(信託報酬)

上限 年2.184%(税込)

■その他費用・手数料 …… 上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。

投資信託説明書(交付目論見書)、目論見書補完書面等でご確認ください。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、三菱UFJ投信が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)、目論見書補完書面等をご覧ください。

【当資料のご利用にあたっての注意事項等】

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

■金融商品取引業者以外の金融機関は、投資者保護基金に加入していません。

■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

■投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■クローズド期間のある投資信託は、クローズド期間中は換金の請求を受け付けることができませんのでご注意ください。

■投資信託は、書面による契約の解除(クーリング・オフ)の適用はありません。

■当資料は、三菱UFJ投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。

■当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■当資料は、信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。